

「チーバくん、ふるさと・ことばかるた」を活用した指導事例（3）

1 題材名 「ルールを守って友達と仲良くあそぼう」

2 ねらい

■「チーバくん、ふるさと・ことばかるた」活用におけるねらい

⑤ルールやマナーを守る心を育てる。

■本時の主たるねらい

かるたをみんなで楽しむという経験を通して、身の回りに存在するルールや約束事の大切さを理解させ、よりよく生活しようとする意識を高める。

3 対象幼児 5歳児

4 展開

幼 児 の 活 動	教 師 の 援 助
<ul style="list-style-type: none"> ・グループごとに座る。 ・かるたのルールについて理解する。 ・グループごとに協力し、かるたを並べる。 ・かるた遊びを始める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループごとに座らせる。 ・ルールについて説明する。 ・みんなで楽しくカルタ遊びをするためには、ルールを守ることが大切であることを理解させる。 ○教師が読み札を読んでいる時は、静かに集中して聞く。 ○教師が読んだ読み札と対になる絵札を見つけたら「はい」と返事をして、絵札を取る。 ○同時に取った場合は、じゃんけんで決める。 ○お手つきをしたら、1回休む。 ○最後まで参加をする。 等 ・協力するように促す。 ・ルールやマナーを扱った札については、あえて説明を加えるなどし、意識させる。

<ul style="list-style-type: none"> ・(例)「ぬいだくつ なかよくきちんと ならべます」の札を取る。 	<p>T 「みんな靴を脱いで座っているけれど、自分の靴はきちんと並べてあるかな？見てごらん。」</p> <p>T 「脱いだ靴は、きちんと並べようね。」</p> <p>(T：教師)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の靴をそろえさせ、普段から気を付けるよう促す。
<ul style="list-style-type: none"> ・(例)「けんかして ごめんなさいで なかなおり」の札を取る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・競技中にけんかになったときに、意図的に取り上げ、説明を加える。 <p>T 「けんかになったら、どうしたらいいの？」</p> <p>T 「同時に取った時には、じゃんけんをするルールがあったよね。」</p> <p>T 「友達と楽しく遊ぶためにはルールを守ることが大切だね。」</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・(例)「つかったら もとのところにかえそうね」を取る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・意図的に最後に取り札とするとよい。 <p>T 「これで最後の1枚が終わりました。かるたもこの後『もとのところにかえそうね』。」</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・かるた遊びが終わったら、自分の取った枚数を数える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・かるた遊びが終わったら、教師とともに数を数えるように促す。
<ul style="list-style-type: none"> ・協力してかるたを片づけ、元の場所に戻す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・協力してかるたを箱の中に片づけ、元の所に返すように促す。 ・いろいろなルールがあるが、みんなと仲良く楽しく生活するためには、とても大切なものであることを確認して終了する。

※ この指導案は、「チーバくん、ふるさと・ことばかるた」を使って初めて遊ぶ際に活用できる。

※ 自分の取った札を数えて勝敗を決める際は、数や順位の概念や勝敗のルールを確認するとともに、幼児の喜びや悔しさに共感する。

※ 「ゆずろうよ バスやでんしゃの すわるせき」「リサイクル ごみもわければ たからもの」「わたるとき かくにんしょう みぎひだりみぎ」など、日常生活でのルールやマナーなども取り上げることができる。